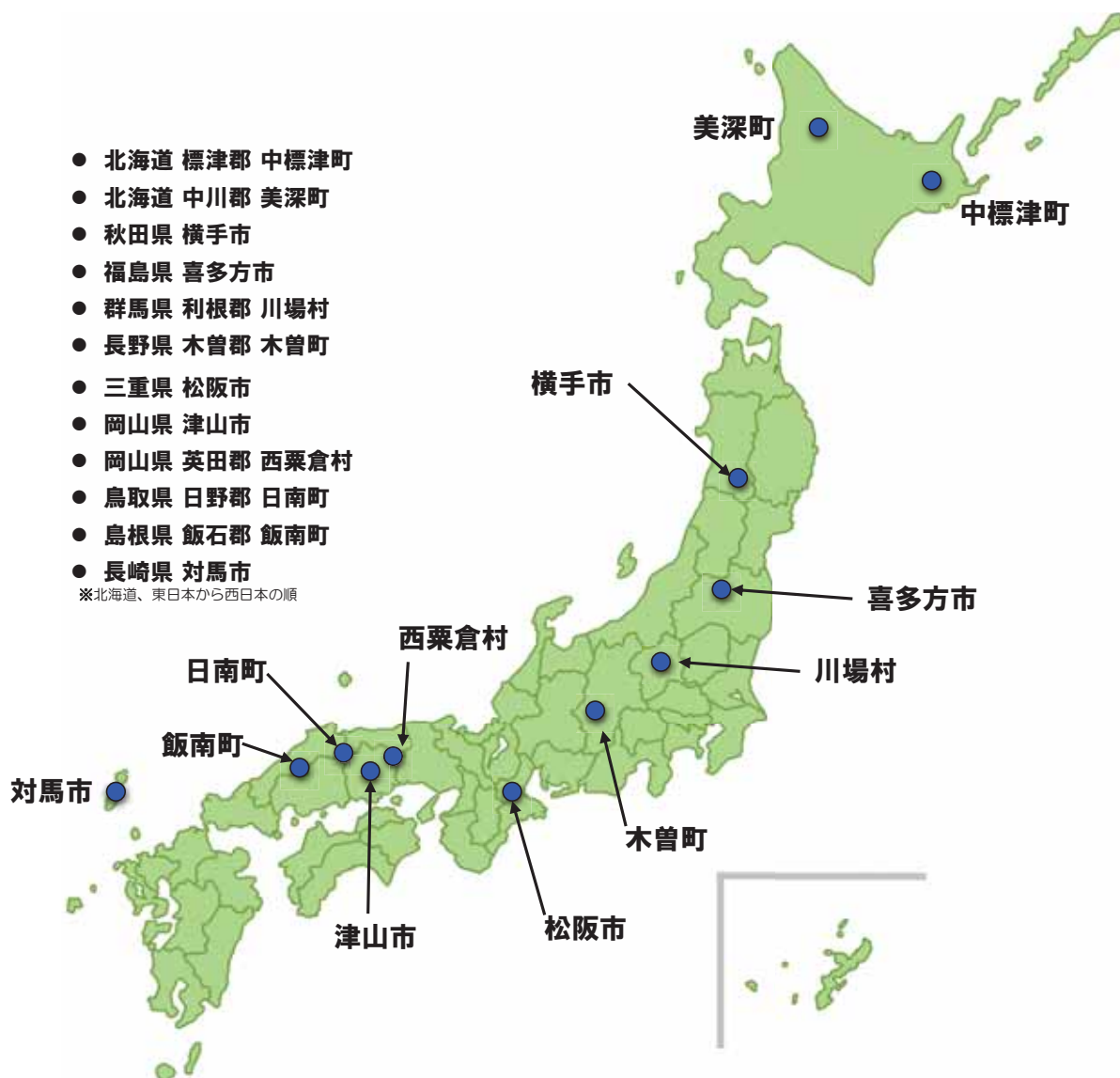




全国先進的Jークレジット事例

全国各地で、自ら管理する市町村有林を対象として市町村がプロジェクト実施者となり、クレジット取得者となってJークレジットを運用している事例があります。ここでは、“全国先進事例”として次の12市町村の事例を紹介します。

これから“Jークレジットを検討する”、“Jークレジットを運用する”際の参考となります。





北海道標津郡中標津町



北海道植樹祭シンボルマーク
『芽森（めもりー）』
出典：中標津町役場 HP

中標津町

中標津町は、北海道の東部、根室地域に位置する人口約 23,000 人の町で、森林面積が町総面積の 48%を占めています。北海道でも有数の大酪農地帯で、酪農が主産業となっています。牛が約 44,000 頭おり、牛の数が人口より多い町で、全国初となる、“牛乳で乾杯条例^{※1}”というユニークな条例も制定されています。格子状防風林（写真）が整備され、その約 50%のカラマツは、長野県の種から生育しています。

※1 正式：中標津町牛乳消費拡大応援条例



写真、Jークレジット対象の格子状防風林
北海道遺産に認定 中標津町役場提供

Jークレジット

間伐事業で得られる二酸化炭素吸収量を利用できないか検討した結果、平成 26 年に全国初となる森林経営活動によるプロジェクト登録がされました。認証されたクレジットは、環境貢献に取り組んでいる町内外の企業等へ販売し、収益を町有林の間伐や植栽費用として有効に活用、森林整備の加速化を推進しています。最近の事例では、ふるさと納税の返礼品として、個人等へも販路拡大中です。

Jークレジットの特徴

暴風雪災害から生活道路と農地を守る、格子状防風林等の間伐を実施することで森林の健全育成を図っています。

また、知床世界自然遺産に近い地域であり、ヒグマやシマフクロウなどの希少野生生物の生息環境を保全することで、生物多様性の維持に取り組んでいます。地域のインフラを守る役割とともに、自然環境を生かした環境貢献をしている事例です。



写真、シマフクロウ（天然記念物）
出典：中標津町郷土館 HP

【参考】

中標津町役場 <https://www.nakashibetsu.jp/sangyo/nourinchiku/ringyou/japancredit/>
中標津町郷土館 https://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/



北海道中川郡美深町

美 深 町

美深町は、北海道北部、稚内市と旭川市のほぼ中央に位置し人口約 4,000 人の町で、森林面積は 85%を占めています。「ピフカ」という町名はアイヌ語の「ピウカ」（石の多い場所）に由来しています。全国初となる大型木造建物全体の SGEC プロジェクト CoC 認証を受けて完成した建築物では、町有林産トドマツを使用するなど、認証材活用の取組にも力を入れています。

明治時代までチョウザメが生息していて、その養殖によって地場特産品の開発を行っています。



写真、SGEC プロジェクト CoC 認証
美深町立仁宇布小中学校
出典：美深町役場 HP

Jークレジット

町内には（株）SUBARU の試験場テストコースがあり、友好的な関係から森林保全協定を結び、様々な協働活動を行っています。SUBARU は美深町が取り組む森林環境活動を応援し、クレジットを購入しています。

また、日本航空もカーボン・オフセットの取組で、乗客の飛行距離に応じ、CO₂削減プロジェクトの国際的プラットフォームを提供するノルウェーの会社を通じて、クレジットを購入しています。クレジット販売資金は、植樹祭や植林などの森林維持や保全活動に充当しています。



写真、SUBARU テストコース
出典：SUBARU HP

Jークレジットの特徴

町のフィールドを生かし、企業とタイアップしている取組が参考となる事例です。

【参考】

- 美深町役場 <http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/>
 SUBARU <https://www.media.subaru-global.com/ja/news/2654>
 JAL <https://press.jal.co.jp/ja/items/uploads/773dfea7a6839a4f1af40d91b25b8a57a3f14cb7.pdf>
 Jークレジット事務局 <https://japancredit.go.jp/case/26/>



秋田県横手市

横手市

横手市は、県南部に位置し、周囲に山々がめぐる盆地の中にあり、旧横手市と平鹿郡の7町村が2005年に合併し誕生しました。人口が秋田県内では秋田市に次ぐ第2位の都市で、人口約85,000人、森林面積は54%を占めています。

基幹産業は、肥沃な土地に恵まれているため、農産物の生産が盛んです。B級グルメと呼ばれる「横手やきそば」と、みちのくの冬の風物詩、2月の「かまくら」が有名です。

Jークレジット

Jークレジット認証は、人手不足、材価低迷などの影響もあり、山の荒廃した箇所が増えてきたという状況から、横手市森林組合の提案を受け、共同でJークレジットを取得しました。販売するには、PRが大事と考え、市役所自らがクレジットを購入し、行政の印刷物で排出されるCO₂のオフセットすることから始めました。税・戸籍関係等の証明書に、

“横手Jークレジットにより、カーボン・オフセットされ、横手の森林に貢献しています”と記載し、まずは、市民の目につく場所でPRしました。第7回カーボン・オフセット大賞農林水産大臣賞、東北地域カーボン・オフセットグランプリ最優秀賞を受賞しています。収益は、横手市の森林を守るため、森林整備費にあてています。

Jークレジットの特徴

カーボン・オフセット制度について理解してもらうところから始め、販売実績を伸ばし、普及啓発活動が参考になる事例です。

【参考】

横手市役所 <https://www.city.yokote.lg.jp/kurashi/1001139/1001234/1003781.html>

Jークレジット事務局 <https://japancredit.go.jp/cp/08/>



写真、「横手やきそば」(左：現地撮影)
“かまくら” (右：横手市HP)



写真、横手の森林風景
出典：横手市HP



写真、平成28年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ Jークレジット事務局



福島県喜多方市

喜多方市

喜多方市は、福島県の北西部に位置し、北西に飯豊連峰の雄大な山並みが連なり、東には磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げる豊かな自然に囲まれた風光明媚なまちで、人口は約43,300人、森林面積は約7割を占めています。

「ラーメン」と「蔵」のまちとしても有名で、他にも米や銘酒造りでも知られ、全国各地から観光客が訪れる観光都市でもあります。



写真、阿賀川のほとりから望む飯豊山

Jークレジット

伐期齢を迎えている“豊富な森林資源”をどのように活用していくかという課題への解決策の一つとして、森林整備を推進するための財源を確保することを目的に、平成22年度からJ-VER制度の取組を開始し、その取り組みを継続しています。

クレジットの活用方法の一つとして、以前から交流のあった東京都中野区と協定*を結び、クレジットを通じた環境交流を行っており、ゴミ収集車が排出するCO₂のオフセットなどに活用していただいています。

※「中野区と喜多方市の連携による地球温暖化防止のための森林整備に関する協定」



写真、Jークレジット対象森林

Jークレジットの特徴

クレジットの取引を通じた自治体間交流が行われており、クレジットの活用の幅を広げる事例です。



写真、喜多方市に設置した看板「中野の森プロジェクト」

【参考】

喜多方市役所
中野区役所

<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/nousanson/799.html>

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/472000/d022630.html>



群馬県利根郡川場村

川場村

川場村は、群馬県の北部に位置する人口約 3,100 人の村で、森林面積は 86%を占めています。基幹産業は農業で、こんにゃく、酪農、米が中心です。道の駅川場田園プラザでは、年間 200 万人近くの観光入込客があることから農業プラス観光の産業育成に重点を置いています。

平成 24 年に清水建設株式会社、東京農業大学と川場村の 3 者で「元気なふるさとづくり協定」を結び、地域資源である木を有効に活用することで、新たな産業やエネルギーを創出し、林業を活性化させ、地域振興にも繋げていこうという「グリーンバリュープログラム (GVP)」を立ち上げ「木材コンビナート事業」が始まりました。



マスコットキャラクター「かわたん」

Jークレジット

Jークレジット認証は、村有林の間伐等の整備を対象に「GVP」の一環として、プロジェクト名「川場村グリーンバリュープログラム (GVP) による豊かな森づくり」で、平成 27 年に取得しています。クレジットの申請、運用は清水建設 (株) が一手に担い、CO₂吸収量クレジットは、川場村から清水建設 (株) に移転されています。



図. グリーンバリュープログラム (GVP)
出典：川場村 HP

Jークレジットの特徴

産・学・官のプロジェクトによって実施されている取組で、パートナーシップの全面協力により取得したクレジットです。

今後、地域の課題解決に向けて ESG 経営を推進する企業等とのパートナーシップによる Jークレジット制度活用の参考になる事例です。

【参考】

- 川場村役場 <https://www.vill.kawaba.gunma.jp/kurashi/>
- (株) ウッドビレッジ川場 <https://woodvillage-kawaba.com/>
- 清水建設株式会社 https://www.shimz.co.jp/company/csr/pdf/sdgsesg2021_1.pdf
- 東京農業大学 <https://www.nodai.ac.jp/news/article/1559/>



里山の景観





長野県木曽郡木曽町

木 曽 町

木曽町は、長野県の南西部木曽地域の中心に位置し、森林面積が90%を占める野趣豊かな人口10,300人の町です。西に木曽御嶽山、東に木曽駒ヶ岳を擁し、中心を流れる木曽川は東海地方まで流れています。



写真. 木曽川 出典：木曽町 HP

J-クレジット

J-クレジット認証は、当時の担当者が長野県の県有林で始めたことを知り、セミナー等へ参加し制度の勉強をしたことが取得の背景となっています。森林整備の財源確保ができる利点と、継続的に森林整備をしてきたので、木曽町にマッチングする制度だと感じ、取得しました。

クレジットの販売については、プロバイダーが主で取引しています。クレジットの収益は、木曽川流域の上下流交流の活動による、下流域からの資金共用として水資源保全のための森林整備にあてています。



写真. 木曽町役場 本庁舎 出典：木曽町役場

J-クレジットの特徴

プロバイダーを通すことで、長野県内企業等の環境貢献型商品として寄付型のカーボン・オフセットに使われている、他の場所での削減・吸収量「オフセット・クレジット」が参考となる事例です。商品代金の一部は森林保全や省エネ活動などのCO₂削減事業に役立てられます。



木曽町J-クレジット ～木曽川上流域からきれいな水を～ プロジェクト

【参考】

木曽町役場 <https://www.town-kiso.com/kurashi/nourin/100284/100427/>

J-クレジット事務局 http://offset.env.go.jp/sengen/cof/detail/sengen_913.html



三重県松阪市

松 阪 市

松阪市は、三重県のほぼ中央に位置し、東は伊勢湾、西は奈良県に接する人口約 15 万 8,000 人の市で、森林面積は 69%を占めています。

江戸時代から「まつさか」または「まつざか」の 2 通りの読み方が存在していましたが、平成 17 年（2005 年）の市町村合併に伴い、読み方を「まつさか」で統一しました。特産品は、「肉の芸術品」として世界から称賛される松阪牛や、松阪茶などが人気です。

Jークレジット

森林経営管理制度に基づく意向調査票により Jークレジット制度へ参加する意向を確認・承諾を得て、公有林（市有林）を含む属人の森林経営計画に含めて、Jークレジット対象森林としています。森林所有者へは、森林経営管理制度の説明会の際に、Jークレジット制度についても説明することで、制度の普及を図り、令和 4 年（2022 年）にプロジェクトの登録申請し、同年 10 月に登録されました。未整備森林の解消と Jークレジット創出による地域の活性化を、同時に推進する取組が進められています。

Jークレジットの特徴

森林経営管理制度に基づく意向調査によって、経営管理を市に委託した私有林を Jークレジット制度の対象としている全国初の事例です（👉：p47 参照）。

【参考】

松阪市役所

<https://www.city.matsusaka.mie.jp/soshiki/33/shinrinseibikeikaku.htm>



写真、松阪市キャラクター“ちゃちゃも”と茶畑



写真、「肉の芸術品」松阪牛



写真、松阪市有林から望む森林風景



岡山県津山市

津山市

津山市は、中国地方の東部、岡山県の北部に位置する人口約10万人の市で、森林面積は約70%を占めています。当市を含むこの地域のヒノキは「美作ヒノキ」と呼ばれ、日本一の生産量を誇っています。まちの中心部には、津山城（鶴山公園）があり、城内に植えられた約1,000本の桜により、「さくら名所100選」に選定されるなど、県内外から多くの観光客が訪れています。

また、津山地域では、昔から牛肉を食べる文化があり、「干し肉」、「そずり鍋」、「煮こごり」、B級グルメで有名な「ホルモンうどん」など、肉の美味しさを最大限に引き出した料理も魅力のひとつとなっています。



写真. 津山城（鶴山公園）



写真. ホルモンうどん

J-クレジット

森林施業計画・森林経営計画に基づき、平成19年からの植栽・間伐等の適切な管理がなされた市有林を対象に森林吸収量をクレジット化する吸収源対策を進めています。

認証されたクレジットは、民間企業にクレジットの一部を預託し、販売を行っています。

主に環境貢献型商品として寄付型のカーボン・オフセットに使われ、その収益は森林整備などに充てられています。

J-クレジットの特徴

森林整備を推進するための財源確保、効率的な森林施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることを目的に、J-クレジット制度に取組んだ事例です。



写真. 津山市の森林風景

【参考】

津山市役所 <https://www.city.tsuyama.lg.jp/top.php>

J-クレジット制度 HP <https://japancredit.go.jp/case/05/>



岡山県英田郡西栗倉村

西栗倉村

西栗倉村は岡山県の北東端に位置し、兵庫県、鳥取県と接する中国山脈谷間の森林面積 93%を占める、人口約 1,400 人の村です。2008 年、樹齢百年の美しい森林に囲まれた「上質な田舎」を実現していくために森林の再生に資源を集中させていくという「百年の森林構想」が策定され、地域資源を活かした持続可能な地域づくりに取り組む先進的な自治体として注目を集めています。



写真. J-クレジット対象森林

J-クレジット

J-クレジット認証は、カーボン・オフセット制度を活用することで、森林整備面積の増加等を行い「百年の森林事業」の拡大を図るとともに、「環境モデル都市」、「バイオマス産業都市」及び「SDGs 未来都市」に認定されている環境先進地として CO₂ 吸収量を確保する活動を推進するために取得しています。



写真. 西栗倉村役場 新庁舎

J-クレジットの特徴

「百年の森林構想」に基づく取り組みの中で、地域資源を活用するためにクレジットを創出しました。通念的な社会構造から脱却し、住民・移住者（増加中）など多くの民間力を結集して、ボトムアップで村全体を環境・SDGs 先進地に推進する 1 つのアイテムとしてJ-クレジットが活用されている事例です。



写真. 村内の自販機に表示されている「百年の森林」

【参考】

- 西栗倉村役場 <http://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/>
- 百年の森林構想 <http://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/hyakumori2/>
- 株式会社百森 <https://www.hyakumori.com/>



鳥取県日野郡日南町

日南町

日南町は、中国山地の鳥取、島根、広島、岡山の4県に跨る地域で、森林面積が9割（東京ディズニーランド670個分）を占める、人口約4,200人の町です。全国で一番人口が少ない鳥取県の中で一番高齢化が進んでおり、少子・過疎高齢化が進行する“日本の30年後の姿”とも言われています。持続可能なまちづくりに取り組む中で、人口減少に向き合い、林業担い手不足の問題から、全国初となる“町立”での林業学校を作りました。

町の人口よりも多く生息しているオオサンショウウオが町の公式キャラクターとなっています。



日南町の公式キャラクター
オオサンショウウオ
出典：日南町



写真、木造を基調とした日南町役場ホール

Jークレジット

Jークレジット認証への取り組みは、町の担当職員が「森林を資源として活用する仕組み」を検討していたところ、たまたまTVでJ-VERを知り、「森がお金になる？」との些細なきっかけで始めました。山陰（鳥取、島根）を拠点とする地方銀行2行（山陰合同銀行、鳥取銀行）とJークレジット地域コーディネート契約を締結し、地域金融機関と連携してクレジットを販売する取り組みは全国のモデル事例となっています。現在では2行のほか、米子信用金庫、第一生命保険鳥取支社ともコーディネート契約を締結しています。

（銀行が紹介した販売については、金額の10%を手数料として支払っています。）

また、道の駅にちなみ日野川の郷では、すべての商品に1品1円のクレジットを付与した寄付型オフセット商品を販売し、お客様が町の森林保全活動に貢献できる仕組みにしています。この取り組みはJークレジットHPの全国事例でも紹介されています。

Jークレジットの特徴

年間100社を超える企業とのクレジット契約を行う日南町。全国でいち早く地方銀行が窓口となり、クレジットの販売者と購入者を結びつける取り組み「Jークレジット地域コーディネーター」が参考となる事例です。

【参考】

日南町役場

<https://www.town.nichinan.lg.jp/soshikikarasagasu/norinka/forestry/7/index.html>

JークレジットHP <https://japancredit.go.jp/cp/30/>



島根県飯石郡飯南町

飯南町

飯南町は、島根県と広島県の県境と中国山地に位置し、島根県の南側の玄関口で、山に囲まれた人口 4,500 人の町です。島根県は出雲神話の舞台で有名ですが、旧暦の 10 月、八百万の神々は縁結びの会議のために出雲大社に集まる際、飯南町にある琴引山に降臨し、神戸川を通して出雲大社に下ると言われています。出雲大社にある大しめ縄は、飯南町で作っています。

町内の約 9 割が森林で、森林セラピー基地の「2 つ星」認定も受け、森林資源を積極的に活用しています。



写真. 大しめ縄創作館



写真. 森林セラピー

Jークレジット

豊富な森林を地域資源として活かすため、町有林を間伐で整備し創出されたJークレジットを県内企業に販売しています。地元銀行がSDGs 実現に向け、ESG 経営を行う中で、Jークレジットの認知度を広めるよう PR してくれています。飯南町総合振興計画の基本施策にも、地球温暖化防止対策の推進に向けてJークレジット方針を打ち出しています。

Jークレジットの特徴

飯南町では、Jークレジットを購入してSDGs の達成やカーボン・オフセットによる脱炭素経営に取り組む県内外の企業とのマッチング（紹介）を、株式会社山陰合同銀行が“地域コーディネーター”として協力している事例です。



写真. 売買契約合同調印式

出典：飯南町 HP

【参考】

飯南町役場 <https://www.iinan.jp/soshiki/7/4910.html>

山陰合同銀行 https://www.chugoku.meti.go.jp/event/enetai/pdf/211220_6.pdf



長崎県対馬市

対馬市

対馬市は、九州の北方の玄海灘にある、島全域が対馬市の1島1市体制で人口約3万人の島です。島内の89%を森林が占めていて、絶滅危惧種ツシマヤマネコ、ツシマウラボシシジミ（蝶）の保全に力を入れています。島内各所に蜂洞（巣箱）があり、養蜂も盛んに行われています。対馬は国内で唯一ニホンミツバチだけが生息する島と言われています。



写真. 烏帽子岳展望所

Jークレジット

森林を適切に管理しないと、海にも色々と影響が出てきてしまうという課題があり、対馬市森林づくり条例を制定しました。森林が環境保全・環境再生の礎となり、豊かな森林資源を生業として活用し、自然豊かな森林を対馬市の大きな財産として次世代に引き継ぐことが目的となっています。同時期にJークレジット制度を始め、森林整備の財源となるよう補助的な役割としました。



写真. Jークレジット対象森林

Jークレジットの特徴

島の基幹産業である水産業や林業も、森林の恵みを受けて成り立っています。「環境王国対馬」にとって、この豊かな森林を再生し、森・川・里・海の連環による環境改善に努める課題から、Jークレジット制度に取り組んだ事例です。



写真. 島内にある蜂洞（巣箱）

【参考】

対馬市役所

<https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/nourin/norinshiiitakeka/949.html>



事例調査は、直接市役所や役場に伺い、生の声をお聞かせいただきました。

先進地の皆さんは、大変ご苦労され、手探り状態でJークレジット（J-VER）を取得されています。

しかしながら、それぞれの市町村の特徴を活かし、またビジョンをもって取り組まれています。

この12市町村の事例は、今後の長野県における市町村を対象としたJークレジットの創出や運用に多大な参考となります。

ご協力いただいた市町村の皆さん、お忙しい中、ご対応いただき、誠にありがとうございました。

大変勉強になりました😊
ありがとうございました_(._.)_

